

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 井部良一(富士見台小学校)

平成28年7月 第2号
担当 井田小学校 鈴木 聡

火災現場で働く人たち…どんな人が、なんのために？



平成28年7月6日(水)、川崎市立中原小学校にて第1回授業研究会が行われました。授業者は藤沢俊太先生、4年社会科「災害からまちを守るために」の単元で、火事を題材として取り上げた学習でした。

本時では、教科書に掲載されている火災現場のイラストを利用し、火災の被害を減らすために様々な人たちが関わっていることを学習していきました。火災は扱いに配慮を要する題材です。これを身近なものとして捉えるために、導入では、あえて情報量が多い動画を扱わずに、「イラスト」と「音声」を使って火災現場の様子をイメージをさせました。その後、グループ活動での付箋紙の活用や、カラー 白黒2種類の挿絵のねらいに応じた使い分け、授業の流れに応じた提示する教材の取舍選択など、情報活用能力を育てるための「授業デザイン」のエッセンスを感じることができた提案となりました。

研究協議の話題をご紹介します



○教室掲示や話し合いの様子から、日々の積み重ねが見られた。

○付箋や音の出るスライドショーなど、すぐに使いたい実践方法を知れた。

○授業者が明確な視点をもって、授業をデザインすることが大切であると思った。

etc…

とても活発な意見交流となりました。
ご参加頂きありがとうございました！

情報活用能力は教科の中で



情報 視聴覚センターの草柳譲治指導主事より、指導講評を頂きました。担任の日常的な取り組みの積み重ねが、子ども達の活動の様子から伝わってきたことに触れ、「情報活用能力は、教科の学習の中で先生がコーディネートしていくもの」とお話をされていました。

各学年や教科で、情報活用能力を効果的に育むチャンスがいつながりが一目でわかる「情報活用能力の育成に向けた学習活動一覧※」も紹介して頂きました。

※指導主事研究としてSAINSに掲載されており、誰でも閲覧・印刷できます。

SAINS TOP→研究・研修関係→研究関係にPDFがあります。